

こんにちは
保健師です

平成18年度から 基本健康審査が変わります

保健福祉課
保健指導係
☎ 52-2144

国から示された介護保険法、老人保健法の改正、町の生活習慣病の実態から、基本健診項目が一部追加、また検査項目によって対象年齢が変わります。

健診内容

町の実態では、青壮年期からの生活習慣病が増えている傾向があるため、64歳以下の健診内容を変更することになりました。また、65歳以上については、介護予防に重点をおき、新たな項目が追加されます。主な変更点は次の通りです。

(1) 2段階方式になります。

1次健診は、南プミンドックの日程で表のような検査項目を実施します。2次健診は、1次健診後に、要指導の判定を受けた方を対象に実施する予定です。

(2) 血液検査の項目を追加
従来の検査に加え、血管

のいたみ具合をみるための尿酸、1〜2カ月の血糖コントロールをみる検査が追加になります。

(3) 18歳以上29歳以下の方も血液検査を実施します。

(4) 30歳以上64歳以下の方は心電図検査・眼底検査を全員実施します。

(5) 65歳以上血液検査

栄養状態をみる血清アルブミンが追加になります。

64歳以下同様に尿酸、1〜2カ月の血糖コントロールをみる検査が追加になります。

診察

口腔内の状態や手足の関節の動きなどもみます。

生活機能チェック

日常生活についての簡単な質問に「はい」「いいえ」で回答します。

反復唾液嚥下テスト

嚥下機能をみるために30秒間で3回以上唾液を飲み込めるかを検査します。

日程・申込みについて

3月に各世帯に配布される

1年に1度は健診を受けましょう

検査項目一つひとつにい

る「各種健診意向調査」にその他の健診や詳しい日程、料金などを掲載しますのでそちらをご覧ください。

ろいろな意味があり、健康状態を知ることができ、また、生活習慣病の予防、早期発見のためにはとても大切です。1年に1度は健診を受け、自分自身の健康に目を向け、しっかりと考える機会をつくりましょう。

健診内容一覧

検査項目	検査内容	18歳以上 29歳以下	30歳以上 64歳以下	65歳以上
計測	身長、体重 腹囲測定 内臓脂肪蓄積されている可能性があるかをみます			
尿検査	尿に糖、血、たんぱくが出ていないかをみます			
問診 血圧測定	現在の体の状況や既往歴などについて確認します			
血液検査	肝機能、腎機能、血中脂質、血液一般、血糖 尿酸、HbA1c(血糖コントロールの状況を見るもの)			
	血清アルブミン(栄養状態をみる検査です)			医師の指示により実施
心電図検査	心臓が正常に働いているかをみます	医師の指示により実施		医師の指示により実施
眼底検査	目の奥の血管の写真をとり、動脈硬化の兆候がないかをみます	医師の指示により実施		医師の指示により実施
診察	呼吸音・心音の聴取をします			
生活機能 チェック	日常生活について簡単な質問に「はい」「いいえ」で回答します			
反復唾液 嚥下テスト	30秒で3回以上唾液を飲み込めるかを検査します			医師の指示により実施

は受診者全員に実施します。

は平成18年度から新たに追加になる検査項目です。

医師の指示により実施する項目は、問診や既往歴、生活状況の結果から必要な場合のみ検査を実施します。